

## 論文の内容の要旨

論文提出者氏名	唐澤 今人
論文審査担当者	主査 駒津 光久 副査 桑原 宏一郎・浅村 英樹
論文題目	A Cross-sectional Multivariate Analysis of the Relationship Between Dental Health and Metabolic Syndrome (横断的多変量解析による歯科疾患とメタボリックシンドロームの関連についての検討)
(論文の内容の要旨)	<p>背景：近年、歯周病とメタボリックシンドローム（以下 Mets）との関連が報告されている。厚生労働省の基本指針では、医療保険の被保険者と 40 歳以上のその扶養者は内臓脂肪肥満に焦点を当てた特定健診を受診する義務があるとしている。しかし、現在のところ特定健診において歯科検診は実施されていない。そこで、本研究では特定健診に歯科検診を試験的に導入することにより歯周病と Mets との関連性について横断的な検討、解析を行なった。</p> <p>方法：2014 年に長野県塩尻市にて国保特定健診を受診した 30 歳以上の受診者のうち、本研究への参加に同意し歯科健康診断を同時に行った 985 名について統計学的解析を行った。特定健診は厚生労働省により示された標準プログラムに基づいて行われた。歯科健診は「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」に準拠して行い、特に歯周病については Community Periodontal Index を用いて評価を行なった。そして得られたデータを用いて、歯科疾患と Mets との関連について統計学的解析を行なった。本研究は信州大学医学部医倫理委員会の承認を得て行われた（承認番号：2775）。</p> <p>結果：被験者数は男性 461 名、女性 524 名、平均年齢は 59.4 歳であった。平均残存歯数は 25.5 本であった。多変量解析の結果では、Mets 診断基準の該当項目数と歯周病との間に有意な関連は認められなかった。しかしながら、危険因子間での相関係数解析により、年齢と喫煙が歯周病と Mets の交絡因子（共通リスクファクター）であることが示唆された。また、共通リスクファクターを考慮すれば、歯周病は Mets の構成要素である肥満、高血圧症、高血糖それぞれとの間に有意な関連があることが示唆された。</p> <p>結論：本研究結果より、歯周病と Mets は加齢、喫煙などの共通リスクファクターに起因することが示唆された。歯周病と Mets に直接的な関係があるかどうかについては不明だが、歯周病と Mets については共同で評価されるべきである。</p>